

授業科目名	ドイツ語会話Ⅱ	担当形態	演習		
		開講学期	秋学期		
担当教員	越智 フェリシタス	単位	1	年次	2

＝授業のテーマ及び到達目標＝

春学期に引き続き、ドイツ語基礎で習得した文法知識をもとに、日常生活に役立つ実践的な会話のパートナー練習を繰り返すことを通し、表現力と語彙力を高めることを到達目標とします。さらに細かなニュアンスの違いを理解し、またそれを表現できるようにします。実際にドイツに行った場合でも、ためらわずドイツ語を話せる自信と能力を養います。同時にドイツと日本における文化の違いを視野に入れた異文化理解への洞察力を深めます。

＝履修の条件と学習の方法＝

春学期に引き続き、会話を高める第一歩は、躊躇せずにドイツ語を声に出しそれを楽しむ姿勢が肝要です。授業時間は限られているので、各自家で文法の復習や短い会話を暗記することは必須条件です。さらに、文字に頼らずドイツ語を使って積極的に話すことが授業への参加条件です。リアルタイムで報道されるドイツに関する興味深いテレビ番組や新聞記事などがあれば、授業で紹介してもらい、それをテーマに会話を発展させます。

＝授業の概要＝

前期に引き続き、授業の概要は次の通りです。はじめに文法の基本的な知識を説明します。そのあと、説明した文法内容が適用されているテキストを一緒に声を出して発音します。つぎにビデオ映像を流し、必要な補足説明をした後に、提示されるキーセンテンスを暗記します。その後にテキスト本文の内容に沿った質問 Fragen zum Text に答えてもらいます。これらを終えた後に、学習内容を実際に自分のものとして表現できるようにするため、クラスの一人一人に学習内容に沿った日常的内容を扱う質問をすることで、ドイツ語の実用的な運用能力を養います。最後に練習問題を行い、授業を終えます。

＝授業計画＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認
- 2回 スーパーでの買い物：未来の助動詞 werden・非人称 es の用法
- 3回 市場での買い物：形容詞の格変化
- 4回 誕生日パーティーⅠ：比較変化・形容詞の名詞化
- 5回 誕生日パーティーⅡ：再帰代名詞・再帰動詞
- 6回 医者診察：動詞の三基本形・過去人称変化
- 7回 薬局にて：現在完了・過去完了
- 8回 前半のまとめ・ドイツ人の生活を描くドキュメンタリー映画鑑賞
- 9回 駅にて：未来完了・話法の助動詞の三基本形
- 10回 ホテルのフロントにて：zu 不定詞の用法
- 11回 ドイツ人旅行者との会話Ⅰ：受動態
- 12回 ドイツ人旅行者との会話Ⅱ：関係代名詞・指示代名詞
- 13回 空港での別れⅠ：接続法Ⅰ式
- 14回 空港での別れⅡ：接続法Ⅱ式
- 15回 秋学期のまとめ・復習

＝テキスト（必携）＝

書籍名：ドイツってすてき！
 著者名：荻野蔵平 Andrea Raab
 出版社：朝日出版社
 出版年：2011年
 価格：2600円＋税
 ISBN978-4-255-25286-5

＝参考書・参考資料（必携）＝

書籍名：アポロン独和辞典

著者名：根本道也・成田克文他

出版社：同学社

出版年：2016年

価格：4200円+税

ISBN978-4-8102-0006-5

＝成績評価の方法と評価の基準＝

授業中の平常点と学期末に行う筆記試験を、以下の割合で総合的に評価する。

- ・平常点（80％）の内訳：毎回の出席状況：20％、授業に意欲的に貢献しているか：10％、ドイツ語の発音、アクセント、イントネーションの正確さ：30％、ドイツ語による質問を正しく理解し、それに答えられる力：40％
- ・学期末筆記試験：20％

＝その他＝

特になし。